

R5年度 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金
R4年度 事業名	鯖江市文化協議会事業補助金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	文化振興に寄与する文化団体の育成を図る。地方文化の向上を図るため、伝統的文化、芸能、行事等の育成、ならびに継承保存に努め豊かな文化のふるさとづくりを図る。				
	概要	鯖江市文化協議会に対する補助金の交付。文化のふるさとづくり事業に要する経費。 (市文協芸能祭、市文協総合展・合同茶会、観月の夕べ等)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		若年層を含む団体数、会員数増のために事業内容に関する指導・助言。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	事業の回数	回	目標値	-	31	30	3	3
			実績値	-	30	30		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	事業の参加者数	人	目標値	-	310	300	500	500
			実績値	-	266	235		
	計算 根拠	文化協議会からの聞き取り、報告	達成率	-	85.8	78.3		
			実数値					
		ランク	-	B	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	高齢化のため、会員が脱会したため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,150	0	1,935	1,935	1,935		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,150	0	925	1,935			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,550	1,935	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,935

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	16

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
6	0点~8点	事務改善または廃止・休止	事務改善または廃止・休止
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

**今年度 R5方向性⇒** 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

**取組内容** R5年度は、主な事業として「芸能祭」、「文協総合展・合同茶会」を実施、また、「親月の夕べ」は事業内容を組み替え実施する。従って、補助金を交付。

---

**来年度へ向けて**

**R4年度の実績** R4年度は補助金を交付し、予定どおりの事業を実施した。

**R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題**  
R4年度はR3年度に引き続き、コロナ禍により、文化芸術活動が抑制され、加入者および加入団体が減少した。また、会員の高齢化に伴い、会員数、団体数ともに加入数が減少の傾向にある。

**実績と課題を踏まえたR6年度の変更点**  
HPなどで市民全般に団体の活動を周知する他、若い年齢層も興味を持ち加入しやすいようにするなど団体の事業の在り方や市民が参加しやすい事業内容について協議、指導し、文化団体の育成を図る。

**R6方向性⇒** 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名 なし  
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度事業名 なし  
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	やんしき保存協会活動費補助金
R4年度 事業名	やんしき保存協会活動費補助金

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	やんしき踊りの保存および普及活動を行い、鯖江の伝統芸能を守り、地域の連帯を深める。				
	概要	やんしき保存協会の活動費の補助				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		やんしき踊りの保存・継承事業に関する指導・助言			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	普及活動回数		回	目標値	-	30	25	25	25
				実績値	-	29	24		
	計算 根拠			達成率	-	96.7	96.0		
				実数値					
			ランク	-	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	300	0	270	300	270		事業タイ	単独事業
	決算額	300	0	270	270			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	602	文化団体活動費補助金	2,550	270	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	270

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

**今年度 R5方向性⇒** 維持

**取組内容** コロナウィルスの影響により、令和5年度も会の活動が制限される可能性が高いものの、令和4年度から自主活動を増やすなどして可能な限り継承活動に取り組むという姿勢を継続していることから補助金を交付する。

---

**来年度へ向けて**

**R4年度の実績** 踊りの練習についてはマスク着用や屋外実施によるコロナ対策を実施したことにより活動環境が大幅に改善。対外的な参加活動(祭りやイベント等)についてはコロナ禍で厳しい状況が続き予算規模も縮小傾向にあるものの概ね横ばい状態。概ね目標を達成することが出来たことから補助金を交付。

**R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題**  
会の練習活動は回復傾向にあるが、対外的な参加活動についてはコロナ以降厳しい状況が依然として続いている。この状況が長引けば参加会員数が減少に転じ、会の活動や運営については民俗文化財の継承活動が滞る可能性がある。

**実績と課題を踏まえたR6年度の変更点**  
コロナ後の対外参加活動環境は改善傾向にあることから、地域の行事やイベントでの踊りを通しての普及啓発を各方面に積極的に働きかけるよう指導するとともに、会員募集の取り組みを行うことで回の活性化を図るよう協議・指導し、前年度並みの予算(補助額)を確保して支援を継続する。

**R6方向性⇒** 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由  
見直し年度にあたるため

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	まなべDEわくわくⅡアートフェスタ			
R4年度 事業名	まなべDEわくわくⅡアートフェスタ			
総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子どもたちが芸術文化に触れ合うことのできる総合的芸術文化活動をとおり、子どもたちに地域の伝統文化、歴史を伝え、郷土を愛する心や創造力豊かな人間性を育み、次世代の育成に努めるとともに市の文化振興を推進することを目的とする。				
	概要	鯖江市がこれまで築いてきた芸術文化、伝統芸能・工芸・産業、生活文化、歴史などの地域の資源や特性を活かした分野を中心に、子供たちが芸術文化を総合的に体験できる学びの場として開催する。また、登録博物館 まなべの館として文化芸術活動の拠点となるよう積極的な活用を行い、市民に親しまれ愛される施設を目指す。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			市が参加者を募集し、講師は一部、各種市民団体等に依頼し開催している。
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	体験教室の回数		日	目標値	-	3	2	2	2
				実績値	-	3	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加人数		人	目標値	-	360	360	360	360
				実績値	-	495	360		
	計算 根拠	事業への参加者数		達成率	-	137.5	100		
				実数値					
		ランク	-	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	650	0	714	751	788		事業タイ	単独事業
	決算額	549	0	548	442			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	7	201	文化振興諸経費	16,562	788
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	788

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	参加者負担金 (@500円×200人)	100
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	100

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.01
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	15
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	R5年度は2日にわけて開催するが、オープニングを復活するなど徐々にコロナ禍以前の運営体制に戻す。
来年度の実績	R4年度は新型コロナウイルス感染予防対策を取り、少人数体制で2日にわけて分散実施し360人の参加者があった。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度は新型コロナウイルス感染予防対策を取り2日に分けて実施。コロナ禍により少人数制やオープニングを中止にして実施したが、徐々に参加者の安全を確保しながらコロナ禍以前の運営体制にもとしていく。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	毎年、参加者の満足度をアップできるよう、カリキュラムの内容構成等をバージョンアップして実施しているが、コロナ禍の期間が長く、参加者の興味やニーズも変化してきていると思われるため、そのニーズに沿った内容を提供できるよう、アンケートなどを取ってより一層内容構成等を充実させて実施する。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし
市民主役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value="0"/>

R6年度事業名	なし
市民主役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート
R4年度 事業名	まちかど歴史浪漫コンサート

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	建造物をはじめとする文化財を舞台・素材としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。				
	概要	文化財（建造物等の有形文化財等）の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財所有者の了承のもと文化財等を公開し市民が直接目に触れる機会を提供する（提案型市民主役事業として隔年実施）。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託（全部）		提案型市民主役事業として、プロポーザル形式で受託者を決定している。			

活動指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
文化財建造物等を舞台としたコンサート等の実施		回	目標値	1	1	1	0	0
			実績値	-	-	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
観客者（参加者）数		人	目標値	200	200	200	0	0
			実績値	-	-	100		
計算 根拠			達成率			50.0		
			実数値					
			ランク	-	-	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	台風接近のため当初開催予定日（9/19）から11/3に延期した結果、寒い時期となったことに加え十分な周知が出来なかったことによる。							

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,080	0	0	1,100	0		事業タイ	単独事業
	決算額	1,080	0	0	1,100			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	202	文化財管理事務諸経費	7,893	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	コンサート参加者負担金(チケット収入)	0
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <b>廃止</b>
取組内容	市内での活動が一巡し文化財の認知度を高め理解促進につなげるという目的を概ね達成したことから事業を廃止する。
来年度へ向けて	R4年度実績 令和4年度は、西光寺(杉本町)を舞台に事業を実施。本堂前において演者2名によるコンサートを開催したほか、関連イベントとして立待の歴史遺産をめぐるウォーキングや寺宝展示会を開催。コンサート来場者は約100名、関連イベント参加者は30名以上。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 過年度事業の参加者数や市民主役事業への応募件数などから判断してニーズは十分にあると考えられるが、天候に左右されるイベントであるため計画どおり進まないことが多い。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 R5については、コロナ禍に加え、台風による延期の影響で非常に寒い時期での屋外開催となり、思うように集客を図ることが出来なかった。今後については、コロナ禍での事業実施の難しさ、さらには事業開始から16年が経過し文化財の周知が一定程度図られたことなどを考慮し事業廃止とする。 ※「近松が生まれ育ったまちさばえ」発信事業と隔年開催
	R6方向性⇒ <b>廃止</b>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	不可能	可能	不可能	不可能
実施状況	実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	なし	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市美術展開催事業
R4年度 事業名	鯖江市美術展開催事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的とする。				
	概要	本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目的に、日本画・水墨画、絵画・造形、彫刻・立体、書道、工芸・クラフト、写真、デザイン・イラストの7部門で作品を募集し、まなべの館と雫陽会館の2会場で大賞・入選作品を展示する。5日間の会期中、作品について意見交換を行うアートワークショップや、子どもから大人まで気軽に美術に親しんでもらうための「気軽にアート展」も同時開催する。その他、市美展への出品数を増やすためのワークショップを実施し、芸術文化に携わる人材育成を図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	市直営		市と市民が主体となった実行委員会が協働して実施する。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	作品の応募点数		点	目標値	225	225	225	225	225
				実績値	375	373	365		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	会場への来場者数		人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,500
				実績値	6,205	5,460	5,702		
	計算 根拠	市民の文化意識の向上を会場への来場者数で判断する。※H24から開催期間が10日間から5日間に変更。※H27から開催日を11月に、会場を2会場に変更。		達成率	156.2	136.5	142.6		
				実数値					
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,405	2,905	2,891	2,900	2,935		事業タイプ	単独事業
	決算額	691	2,541	2,607	2,778			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	16,562	2,935	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,935

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	出品料(@1,300円×250人)	325
2	ワークショップ(日本画・洋画等)	200
3		
4		
5以降		
合計		525

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	R4年度と同様の形態で行うが、コロナ禍以前に戻せる部分は実行委員会と協議、改善して実施する。
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 R2、3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を十分に配慮し、搬入から搬出、表彰式を時間制、少人数制で実施した。また、オンラインを活用したワークショップを行い、総出品数365点、5,702人の来場者数があった。 コロナ禍で講座や教室などの創作活動の場が少なかったため、出品数にも影響が出た。どのような場合においても、市民が安心して自己の創作活動、発表ができる場を失わないようにすることが大切である。また、美術展への参加を増やすため、作品制作を学ぶ場の創設、市民が気軽に学べる場を提供していく必要がある。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	コロナ禍で生まれた良い点を残しながら徐々に通常の運営に戻していく。また、コロナ禍で減少した市民の芸術文化活動を支援するために、人材育成や技術向上を目的とした芸術講座等(オンラインを含む)を引き続き企画していく。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	なし
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業
R4年度 事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業

総合戦略 体系	325	若くて元気なまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	平成23年度で、まちづくり交付金事業が終了し、継続性が必要なものについて予算付けして「近松のまちさばえ」を情報発信してきたが、28年度に近松鯖江生誕説が発表されたことに伴い新たに「近松が生まれ育ったまちさばえ」を全国に情報発信する。				
	概要	「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」令和5、6年度は近松生誕370年、没後300年の節目の年となるため、アニバーサリー的要素を含んだ近松シリーズ講座を市が実施。また、市民目線で広く情報発信するため、鯖江人形浄瑠璃「近松座」によるPR出前公演および人材育成事業を委託実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	PR公演は、鯖江人形浄瑠璃「近松座」に委託して開催する。	
現在	民間等委託（一部）					

DO (実施)	活動指標									
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024	
	近松座による出前公演の回数		回	目標値	-	7	5	7	7	
				実績値	-	6	10			
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024	
				目標値	-					
				実績値	-					
	計算 根拠				達成率	-				
					実数値	-				
	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業の参加者数		人	目標値	-	550	300	300	300	
				実績値	-	811	404			
	計算 根拠	「近松が生まれ育ったまちさばえ」が浸透しているかどうかをイベントの参加者数で判断する。R1年度：近松入門講座の参加者数を追加 ※発信事業の内訳は文楽公演委託事業、近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業（近松			達成率	-	147.5	134.7		
					実数値	-				
				ランク	-	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,000	0	2,348	2,020	2,168		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,803	0	2,005	2,020			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	5	7	201	文化振興諸経費	16,562	2,168
2							
3							
4							
5以降							
合計							2,168

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	出張講座 @11,000×43人	473
2		
3		
4		
5以降		
合計		473

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計 点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ 事務改善(市民等との協働を導入・拡大)
取組内容	R5年度は、近松生誕370年の記念の年であり「近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業」として文楽公演委託事業のほか、アニバーサリーの要素を組み込んだ「近松講座」や「とくべつ出張！ちかもんくん」など事業を継続して実施し、近松が生まれ育ったまち鯖江を全国発信する。
来年度へ向けて	R4年度の実績 R4年度は、R5年度の近松生誕370年プレ事業として、初めて参加される方もわかりやすく、また近松を広く知ってもらうための「近松はじめて講座」や「文楽観劇ツアー」を実施し、延べ436人の参加があった。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 近松生誕370年事業の充実を図るため、R4年度に引き続き近松関連の団体が連携して事業を集約する必要性ある。 また、県内外への情報発信を積極的に行うこと。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 R6年度は、R5年度の近松門左衛門生誕370年記念事業に引き続き、近松没後300年記念事業を計画する他、近松座などの関係団体と連携した事業を行い近松が生まれ育ったまちさばえの周知強化を図る。 ※市民主役事業は隔年開催
	R6方向性⇒ <span style="color: red;">維持</span>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	不可能	可能	不可能
実施状況	未実施	実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	近松が生まれ育ったまちさばえ発信事業(予定)
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 1,000
R6年度事業名	なし
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	文化財調査事業
R4年度 事業名	文化財調査事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	貴重な文化財を保存保護し未来へ継承するために、指定文化財候補となるべき物件の悉皆調査等を実施するほか、まなべの館で未整理となっている古文書等の調査を実施する。				
	概要	鯖江市文化財調査委員会での諮問をはじめとして、多方面からの要望等に基づき、事務局において調査が必要と判断された文化財について調査を実施する(埋蔵文化財対応を除く)。事業の一部については、高度な専門的知識と技術をもつ明治大学および京都女子大学の専門家に委託する。(明治大学への委託費についてのみ文化財管理事務諸経費。それ以外は文化財調査事業費)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		市職員(学芸員)および専門機関(大学等)に一部を委託して直接市内各地の文化財を訪問し、調査を行う。			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		古文書の搬入点数	点	目標値	-	300	300	300	300
				実績値	-	500	500		
		悉皆調査等の回数	回	目標値	1	3	3	4	4
				実績値	1	5	5		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		古文書の調書作成点数	点	目標値	-	300	300	300	300
				実績値	-	500	500		
	計算 根拠			達成率	-	166.7	166.7		
				実数値					
		調査した文化財の数	件(点)	目標値	1	3	3	4	4
				実績値	1	5	5		
	計算 根拠			達成率	100	166.7	166.7		
実数値									
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	860	174	1,121	973	1,893		事業タイ	単独事業
	決算額	841	20	469	682			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	202	文化財管理事務経費	7,893	495	
2	10	5	7	203	文化財調査事業費	2,502	1,398	
3								
4								
5以降								
							合計	1,893

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.34
	会計年度職員	0.87
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計 点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	コロナウィルスの影響が落ち着くことを前提として実施予定。なお、大学等への調査事業委託については、大学側および市側の対応状況を勘案して可否を判断。なお、事務局対応可能な調査事業については個別に実施予定。これらに加え、登録文化財候補物件の調査事業委託を新たに実施予定。	
来年度へ向けて	R4年度実績	明治大学および京都女子大学への古文書調査委託を実施し目録等を作成した。このほか、文化財調査委員や事務局による調査(現況調査含む)を実施。(文化財調査委員会において、市内に眠る未調査の文化財候補物件調査の必要性は指摘されており、それを反映して実施。このうち特に保存保護の必要なものについては指定等への道筋をつける)
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	コロナ禍の社会情勢も落ち着きつつあり調査環境は改善されつつあるなか、依然として文化財所有者から調査延期の要請事例もあるなど調査環境は厳しい。また、新たに国登録文化財の申請を目指した調査要請も寄せられている。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	文化財指定や収蔵資料整理目的のための調査に加え、R5は国登録文化財申請にむけた古民家等の専門的調査についても実施したが、R6は国登録文化財の調査要請がなかったことから実施しない。
	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	見直し年度にあたるため

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	なし	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	まなべの館企画展開催事業
R4年度 事業名	まなべの館企画展開催事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	博物館活動の中核を担う企画展開催事業を通して、教育・学術向上への寄与を図るだけでなく、本市の芸術文化・歴史等の更なる向上を図ることを目的とする。また、登録博物館としてのまなべの館の活用を積極的に図り、安定した事業運営を確保する。				
	概要	歴史、芸術、民俗、産業、自然科学および現代社会が抱える問題など、まなべの館展覧会開催方針に伴ったテーマのもと企画展開催事業等を実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営		市職員(学芸員)が企画テーマに基づき、調査研究を行い、資料の借用、交渉から広報、展示など企画事業をプロデュースする。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	企画展の開催		回	目標値	1	2	2	2	2
				実績値	1	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	入館者数		人	目標値	1,000	2,500	2,500	2,500	3,000
				実績値	1,863	4,752	5,343		
	計算 根拠			達成率	186.3	190.1	213.7		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	5,000	5,000	4,500	5,000	5,200		事業タイ	単独事業
	決算額	5,000	0	3,400	4,995			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	8	203	文化事業運営費	5,200	5,200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	5,200

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	観覧料(300円×2,500人)	750
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	750

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点～8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	企画展の開催 ①兜山古墳の時代展・・・古墳公園として公開される史跡兜山古墳の整備事業完了を記念し、兜山古墳をはじめとする県内各地の古墳出土品を展示・紹介し、当時の古墳文化を知ってもらうとともに埋蔵文化財の周知や理解促進を図る。 ②里中満智子作品展・・・本市ゆかりの近松門左衛門の作品「心中天網島」や代表作でもある「天井の虹」等を題材として少女漫画を確立させた先駆者として知られる里中満智子氏の作品を紹介し、日本が世界に誇るポップカルチャーの一つである漫画に親しんでもらう。
来年度へ向けて	R4年度の実績 R4年度は県外や海外で活躍するの絵本作家を紹介した「H@L絵画と絵本の世界-20年の軌跡」「ベネロベ絵本原画展」と陸軍歩兵三十六連隊の歴史を紹介する「陸軍歩兵三十六連隊とさばえ」の3本の企画展を開催し、5,343人の入館者があった。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 まなべの館の認知度の低さが課題。より多くの来館者を得られるよう、まなべの館を知ってもらうための広報体制の見直しを図る。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 より多くの人に来館してもらうために展示内容のWEB配信などオンラインコンテンツを充実させ、鑑賞者増を図る。また、観覧料についても増額し、財源確保を図る。 R6方向性⇒ <input type="text" value="事務改善(手段・サービス水準の見直し)"/> CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由 R6年度から3ヶ年は芸術文化活用プロジェクト まちなかミュージアム事業として実施

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	重要文化財旧瓜生家住宅保存修理事業
R4年度 事業名	重要文化財旧瓜生家住宅保存修理事業

総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進
------------	-----	-------------	----------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2020	終了年度	2027
	目的	県内最古級の民家である重要文化財「旧瓜生家住宅」について保存修理事業を実施し、保存を図るとともに貴重な文化財を健全な状態で未来へ継承する。				
	概要	旧瓜生家住宅について、適切な状態で保存するための保存修理等を行う。地盤調査、耐震診断等を実施し、実施設計に反映。修理工事、茅葺屋根の葺替工事、監理業務委託ほかを実施するほか必要に応じて耐震対策工事も実施。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	国庫・県費補助事業として、市が修理事業を推進する。		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	事業進捗率		%	目標値	5	-	10	15	20
				実績値	5	-	10		
	計算 根拠			達成率	100	-	100		
				実数値					
			ランク	A	-	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		2,300	0	0	10,614		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額		1,287	0	0			経費区分	普通建設事業費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	7	501	文化財保存整備事業費(補助)	12,615	10,614	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	10,614

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	5,306
2	国指定文化財保存修理等補助金	1,768
3		
4		
5以降		
合計		7,074

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	R5年度において(国の第4次交付)事業採択される見込みであり、地盤診断、耐震診断等の調査業務をととして実施設計策定作業に着手する予定。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	設計監理を担う文化財建造物保存協会と協議を継続し修理事業にかかる工程の組立、概算事業費の算出を行った。これをもとに9月に国と県で事業化に向けた協議を行い、1月の国庫補助ヒアリングでR5からの事業採択について内諾(4次交付予定)を得た。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	コロナ禍による資材高騰等の影響で国の予算がひっ迫しており補助事業採択については予断を許さない状況にある。R5からの事業採択を前提とするが、複数年かけて各種調査を実施し、屋根葺替えを含む修理方針を決定する計画。このため、現時点で全体事業費および事業期間は不明であり、調査結果次第では耐震補強設計および同工事が必要となり、これに伴い事業工程の延期、事業費が増額となる可能性もある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	R5.11月に事業採択(国庫補助金交付決定)されたことから、引き続きR6においても地盤調査や耐震診断ほか実施設計業務を実施し、修理工事の方向性を国・県と協議して決定していく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	R5に国庫補助事業採択されたことにより、R6まで各種調査事業および実施設計作業を継続して実施するため。

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	まなべ*学びプロジェクト			
R4年度 事業名	まなべ*学びプロジェクト			
総合戦略 体系	325	若くて元気のまちの創造	子どもがいきいきと過ごすまち	文化活動の推進

PLAN (計画)	部署名	文化課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	地域の芸術文化や歴史との「出会い」と「学び」を通して、芸術文化と歴史に身近に感じてもらうとともに親子の絆と学びを深める。				
	概要	芸術文化・歴史を身近に感じ、学びと親子の絆を深めるため、3つの学びのテーマを設け、外部講師を迎えてフィールドワークやワークショップなどの親と子で学び楽しめる体験型学習事業を実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	回数		回	目標値			3	3	3
				実績値			3		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	人数		人	目標値			90	70	70
				実績値			70		
	計算 根拠	講座の参加者数		達成率			70		
				実数値			77.8		
			ランク			C			
前年度 ランク B、Cの 理由	講座の定員設定を見誤ったため								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				430	314		事業タイプ	単独事業
	決算額				271			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
	1	10	5	7	201	文化振興諸経費		16,562	314
2									
3									
4									
5以降									
								合計	314

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	参加費 @500×30	15
2	1,500×60	90	
3			
4			
5以降			
		合計	105

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
合計点数	13
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">維持</span>
取組内容	R5年度も芸術文化・歴史等から3つのテーマを設け、フィールドワークやワークショップ等の体験型事業を実施する。
来年度へ向けて	<p>R4年度の実績 R4年度は、「シルクスクリーン」、「鯖浦線を訪ねる」、「パッケージデザイン」の3つの講座を開催し、芸術、歴史、デザインの学びを深めてもらい、70名の参加があった。</p> <p>R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 多くの市民に参加してもらうために広報の時期や方法が重要課題となっている。広報はできる限り早く行い、市民に広く知ってもらえるようSNS等も積極的に活用する。</p> <p>実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 R6年度は広報の時期を早くするなど、その期間や方法を改善し、多くの市民が参加しやすいようにする。</p> <p>R6方向性⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事務改善(業務プロセスの改善)</span></p> <p>CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由</p>

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	なし	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒